

# 戦争をさせない 三原市民行動通信

「戦争をさせない三原市民行動」

2021年4月発行 31号  
〒723-0015 三原市円一町2丁目1番1号  
三原市職員労働組合内  
三原地区労働センター〔TEL〕0848-64-4600

止めよう改憲！ 政治を変えよう！

## 4月から街宣活動は“19日”に実施

4月19日（月）17時30分～ 三原駅前

改憲を声高に叫んできた安倍政権が昨年9月ついに幕を下ろしました。しかし、続く菅内閣は「安倍政治の継承・発展」を掲げ、昨年の臨時国会所信表明演説において、「憲法審査会において、各党がそれぞれの考え方を示した上で、与野党の枠を越えて議論し、国民的な議論につなげていくことを期待する」と改憲に意欲を示し、通常国会での国民投票法改正案（憲法改正手続法）の採決・成立をねらい、改憲発議の流れを作ろうとしています。



さらに、敵基地攻撃能力の保有をめぐる議論を急速に進めており、歴代自民党政権でさえ防衛政策の基本にしてきた「専守防衛」の原則を投げ捨て、アメリカとともに世界で戦争する国へと突き進もうとしています。このような時だからこそ、私たちは戦後、日本の平和を築いてきた平和憲法を守り活かすため、「改憲NO!」の声を上げていかなければなりません。三原市民行動の定例「19日行動」、冬季期間は土曜日の昼間に実施しています。

3月20日（土）、13時30分から三原駅前に16人が参加して街宣活動を行いました。7人の弁士（高木議員・寺田議員・花田さん・寺田さん・富中さん・齋尾さん・岡崎さん）が、①東日本大震災・福島原発事故から10年を迎え、原発再稼働に対する懸念や核政策に後ろ向きな日本政府の姿勢。②安保法制下での軍備費の増大。③コロナ禍による雇用・生活不安の増幅。④迷走する国会論戦など主権者（国民）をないがしろにする菅政治に警鐘を鳴らし、4月の参議院広島選挙区再選挙や秋までに行われる衆議院総選挙において、「今こそ、憲法と民主主義・いのちと暮らしを守る政治を求めていこう」と訴えました。

今月から本来の19日街頭行動日に戻して、4月19日（月）、17時30分から三原駅前でいきます。年度初めで何かとご多用のことと思いますが多数の参加をお願いいたします。

